

避難の際の留意点

災害発生時に家等にいる場合や危険な場所にいる場合は、素早く避難する必要があります。その際次のようなことに注意しながら避難行動を行ってください。

避難する際に火の元の確認

ガスの元栓・電気のブレーカーの確認を行う、避難する際に余裕がある場合のみ行うようにしましょう。
津波無避難の場合は、高台避難を優先



連絡先メモを残す

救助者、家族等に避難先を知らせるためにメモを残す。
誰にでも見える位置に(玄関、窓等)

動きやすく、安全な服装で避難

頭を保護できるものを被り靴を履く(締め付けされる靴)
長靴、裸足は、サンダルは厳禁
避難に必要な最低限の荷物だけにする(通常時から準備しておいた非常袋等)

災害時要援護者への配慮

近所にいる高齢者、障害者、けが人等がいる場合、避難の手伝いをする。
二次災害に巻き込まれないよう十分注意を払うこと。



単独で避難しない

避難するときは2人以上で避難する。
はぐれないようお互いをロープで結んでおくといいですよ



周辺・足下に注意しよう

倒壊しやすいブロック塀、建物、川沿い等の道は避けて避難する。

足下に水が来ている場合側溝やマンホールに気づきにくい場合があるため、長い棒を杖代わりに持ち避難する。

歩行ができる水深の目安は約30cmぐらいまで、水の流れが速い場所は、さらに低い水深でも歩行が困難になるため無理せず高い所に避難する。

